



少年指導員のつづき

学区のパトロールをしていると、年々子どもたちの姿を見かける機会が減ったという話を耳にします。元気に遊ぶ声が少ないのは少し寂しい気もします。

子どもたちが地域でどう過ごしているのか、私たち指導員や保護者、地域が改めて考えるきっかけになるかもしれません。習い事や室内での遊びが増えていくのかもしれません。

見守り活動の形も、時代とともに変わる必要があると感じています。私たち指導員は、子どもたちが「どこにいるか」よりも、「地域に見守られている」と感じられるようこれからも活動を続けていきたいです。

もし私たち指導員や子どもたちを見かけたら、ぜひ声をおかけください。その一言が、子どもの安全と成長を支える「きずな」になります。

湖北台中学校区・湖北台中学校
齋藤 英貴

地域のみなさま、いつも少年指導員の活動にご理解をいただきありがとうございます。

私たちがパトロールで巡回している久寺家中学校区の地域は、とても落ち着いています。

しかし、生徒指導を行う中で私がかたいへん心配しているのは、子どもたちのSNS利用についてです。仮想空間であっても、現実同様に法やモラルを守る高い意識が欠かせません。文字だけのやり取りだからこそ、相手を思いやる「より丁寧なコミュニケーション」が求められます。

ご家庭でもお子様とSNSなどインターネットの利便性と危うさについて話題にし、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

久寺家中学校区・久寺家中学校
竹内 健介

我孫子市で開催!!

青少年補導員東葛地区ブロック研修会

2月15日(日)、我孫子市民プラザに東葛地区6市の少年指導員や少年センター職員が集まり、研修会を開催しました。我孫子市から33名、各市から40名の総勢73名が参加しました。

聖徳大学の久米知代先生より「子どものスマホ・ゲーム依存」についてご講演いただき、「デジタルネイティブである子どもたちの状況」「スマホが脳に与える影響」「SNSを介した事件」などについて詳しく知ることができました。子どもたちの見守り活動をする上で、新たな視点をいただき、大変勉強になりました。

また、グループで協議を行い、指導員同士が互いの考えや取り組みを共有する貴重な機会となりました。



親と子で ちがう？同じ？

小中学校の保護者・子どもに、12~1月にアンケート調査を行いました。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。(回答数:362件)

夢があった 今、夢がある

親 **75%** 子 **62%**

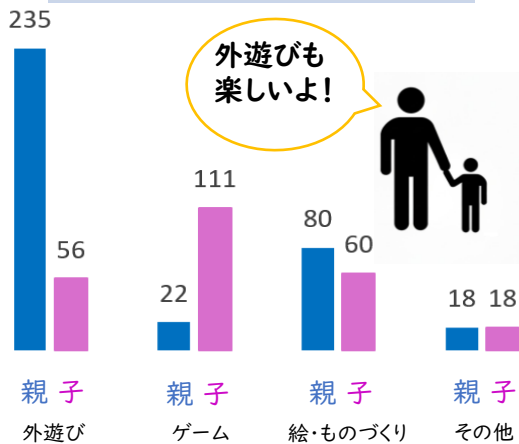
今の子どもたちは、親世代に比べて夢を描きにくい？今、夢はなくてもこれから、夢を持てるとよいですね。

時代は変わっても、楽しいことはあまり変わらないんだね。

学校で1番楽しかったこと
今、楽しいことは？

親		子
休み時間	1位	休み時間
行事	2位	行事
部活動	3位	給食
給食	4位	部活動

子どもの遊びは？



インターネットの普及、高度情報化で子どもの遊びも大きく変わったね。

憧れた人、憧れている人は？

親	子
● 芸能人・歌手 24.6%	● スポーツ選手 35.0%
● 親・家族 15.3%	● YouTuber/芸能 28.0%
● 学校の先生 11.9%	● 友人・先輩 20.0%
● スポーツ選手 9.3%	● 先生・家族 15.0%

親世代は、主に「テレビ画面の向こうの遠い存在」や、「導いてくれる頼れる大人」への憧れを持っているのかな。

子ども世代は、主に「SNSを通じて見つけた“推し”」や、「共感し合える身近な存在」への憧れを持っているんだね。

編集後記

今回のアンケートから、昔と今の子どもたちの姿の違いが見えてきました。遊び方は変わっても、夢中になれるものを持つ気持ちは、昔も今も変わりません。幼い頃からICTに親しみ、情報活用に慣れている一方で、対面での関わりに戸惑う場面もあるようです。時代の変化を前向きに受け止め、子どもたちの成長を温かく見守っていきたいと思います。



(白山中区・椎名)